



2023年5月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ロ ワ イ ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 尻 公 平
(コード番号 7616 東証プライム市場)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 米 村 昌 晃
(T E L 0 4 5 - 2 7 4 - 5 9 7 0)

**連結子会社における「減損損失の計上、業績予想と実績との差異及び
個別実績と前期個別実績との差異に関するお知らせ」について**

当社の連結子会社であるカップ・クリエイト株式会社（本社所在地：横浜市、代表者：代表取締役社長 山角 豪）におきまして、添付資料のとおり「減損損失の計上、業績予想と実績との差異及び個別実績と前期個別実績との差異に関するお知らせ」を本日発表しましたので、お知らせ致します。

尚、当社の2023年3月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり修正が必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

以上



2023年5月11日

各 位

会 社 名 カップ・クリエイト株式会社
代表者名 代表取締役社長 山角 豪
(コード番号 7421 東証プライム)
問合せ先 経 理 部 長 志村 葵
(TEL 045-224-7095)

減損損失の計上、業績予想と実績との差異及び 個別実績と前期個別実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、減損損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、2023年2月8日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値、及び2023年3月期個別実績と前期個別実績につきまして、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

新型コロナウイルス感染症の第8波による影響、ならびに、原材料・エネルギー等の価格高騰による業績への影響を踏まえ、当社グループが保有する店舗等に係る固定資産の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、当第4四半期連結会計期間に127店舗及び2工場に対し減損処理を行い、減損損失15億45百万円を計上することといたしました。

2. 通期業績予想と実績との差異

(1)2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	71,015	△1,065	△1,096	△1,426	△28.91
実績値(B)	70,437	△1,102	△1,102	△3,041	△61.65
増減額(B-A)	△578	△37	△6	△1,615	
増減率(%)	△0.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	67,206	△2,113	△1,889	736	14.92

(2) 通期連結業績予想と実績との差異の理由

2023年3月期通期業績は、慎重に検討を重ねた結果、上記のとおり減損損失を計上することとしたため前回予想を下回ることとなりました。

3. 2023年3月期個別実績と前期個別実績との差異

(1) 2023年3月期個別実績と前期個別実績との差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前期実績(A) (2022年3月期)	52,979	△2,456	△2,297	301	6.12
当期実績(B) (2023年3月期)	56,369	△1,106	△1,115	△2,722	△55.18
増減額(B-A)	3,389	1,350	1,182	△3,024	
増減率(%)	6.4	—	—	—	

(2) 個別実績と前期個別実績との差異の理由

2023年3月期におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限等が徐々に緩和されたことにより、売上高は前期に対して増加となりました。利益面におきましては、原材料・エネルギー等の価格高騰があったものの、売上高増加や生産性改善効果により、営業利益及び経常利益では、前期を上回ることとなりました。しかしながら、当期純利益におきましては、前期において発生した時短協力金等の助成金収入がなかったこと及び減損損失を計上したことにより、前期を大きく下回りました。

以 上